

エコアクション 2 1

環境経営レポート

2024 年度(75 期)

(2023 年 10 月 1 日－2024 年 9 月 30 日)

発行日: 2024 年 11 月 24 日



渡辺ケミカル株式会社

本社

承認	作成
印	印

■ 環境経営方針

＜基本理念＞

渡辺ケミカル株式会社本社は、医薬食品化学品卸売業として商品販売活動の中で環境負荷低減活動の継続的な活動を展開する。

＜活動方針＞

環境を意識し、環境負荷低減を目指し、地球環境に貢献する。

＜重点活動項目＞

- 1) 省資源、省エネルギーの環境目標を定め、継続的改善を図る。
 - ① 温室効果ガスの削減として未使用部屋は消灯する。
 - ② コピー用紙の削減のため、資料は可能な限り印刷せず、電子媒体でやり取りを行う。
 - ③ 環境に配慮した商品（水系ウレタン、粒状活性炭、水系防腐剤、植物油、粉体塗料原料）の販売量を増やし環境に配慮した商品の販売を増やす。
 - ④ 給湯室・洗面所での節水活動の推進。
 - ⑤ 廃棄物の分別回収の徹底。
 - ⑥ 産業廃棄物の削減に努める。
 - ⑦ 車両ガソリンの削減に努める。
- 2) 専門商社として営業活動の中で環境配慮型商品(水系樹脂、水系防腐剤、粒状活性炭、天然植物油、粉体塗料原料等)の取扱に注力し、ユーザーに情報を提供する。
- 3) 環境に関する法規制及びその他の要求事項を順守する。
- 4) 環境経営方針は、全ての従業員に周知する。

改訂日 2024 年 6 月 12 日

渡辺ケミカル株式会社

取締役 那須一生

■事業概要

<組織名>

渡辺ケミカル株式会社 本社

<代表者>

那須一生（代表者就任：2024年6月12日）

<所在地>

大阪市中央区平野町3丁目6番1号

<設立>

1949年10月26日

<認証・登録事業者名>

渡辺ケミカル株式会社

<認証・登録の活動範囲>

医薬食品原料・工業薬品の仕入販売

<事業内容>

医薬食品原料および工業薬品を、国内外から仕入れ、医薬品・食品・工業品の製造業者へ販売している。

医薬食品原料：47%（ビタミン類、医薬品原薬、食品添加物等）

化学品原料：53%（工業用樹脂、工業用保存剤、活性炭、粉末塗料原料等）

<従業員数>

32名（本社のみ）

<環境管理責任者および担当者>

環境責任者：化成品事業部 西日本営業部 松田 章

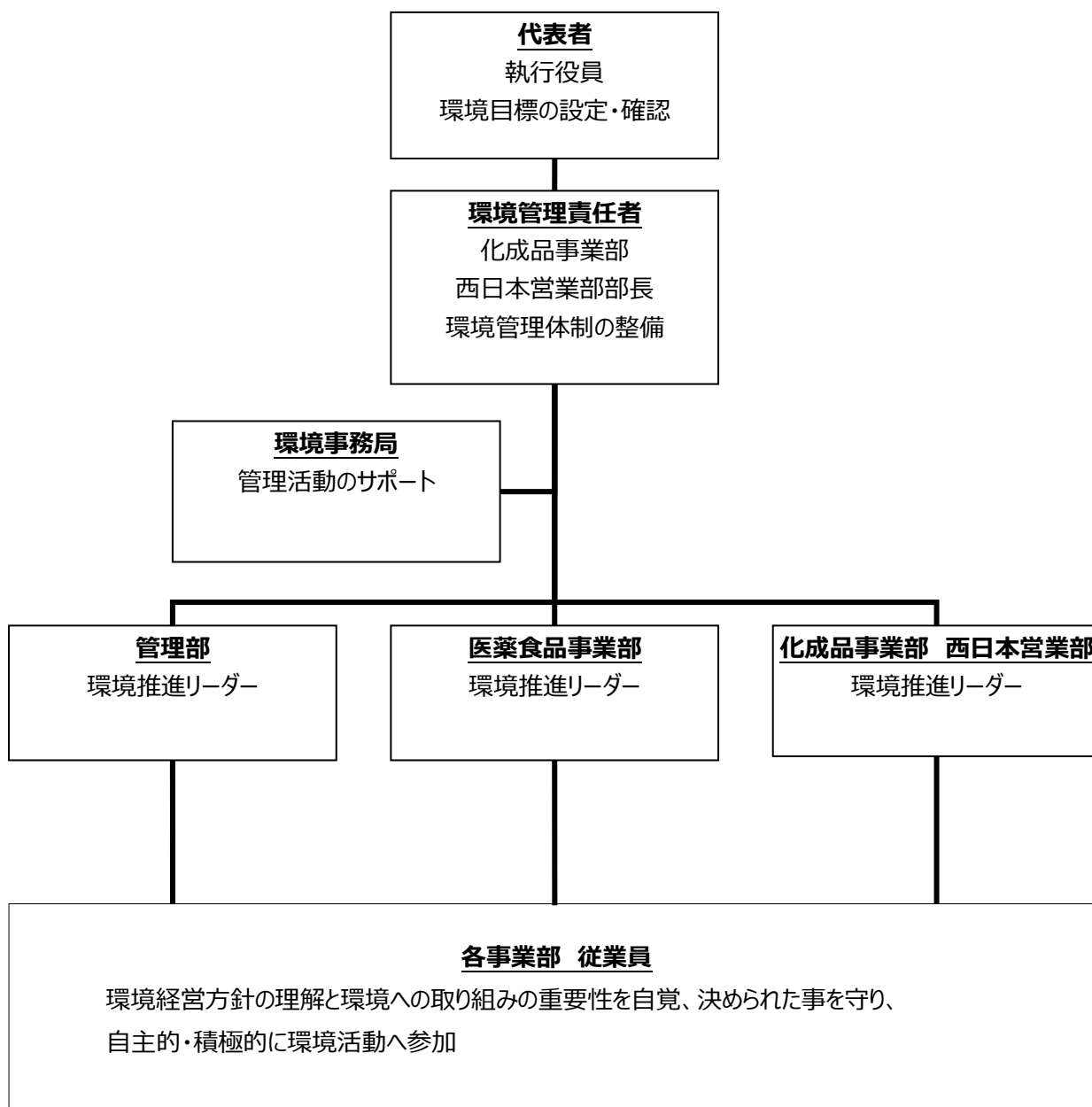
事務局： 化成品事業部 西日本営業部 松下 勝

<EA21 認証登録>

2006年3月 名古屋営業所 登録番号 0000686

2007年3月 東京支店 登録番号 0001495

■ 本社 環境経営組織図



中長期環境経営目標

下記の通り中長期環境目標を策定した。

第 75 期(2023/10～2024/9) 目標	第 76 期(2024/10～2025/9) 目標	第 77 期(2025/10～2026/9) 目標
電力使用による温室効果ガス排出量を 74 期比 1%削減する。	電力使用による温室効果ガス排出量を 75 期比 1%削減する。	電力使用による温室効果ガス排出量を 76 期比 1%削減する。
車両ガソリンの削減に努める為、エコカーの使用、エコ運転に努める。 前年度実績より増加しないように努める。	車両ガソリンの削減に努める為、エコカーの使用、エコ運転に努める。 前年度実績より増加しないように努める。	車両ガソリンの削減に努める為、エコカーの使用、エコ運転に努める。 前年度実績より増加しないように努める。
コピー用紙使用量を 74 期比 2%削減する	コピー用紙使用量を 75 期比 2%削減する	コピー用紙使用量を 76 期比 2%削減する
給湯室・洗面所での節水活動の推進	給湯室・洗面所での節水活動の推進	給湯室・洗面所での節水活動の推進
事務所から出る一般廃棄物を削減する為、分別回収を徹底する。	事務所から出る一般廃棄物を削減する為、分別回収を徹底する。	事務所から出る一般廃棄物を削減する為、分別回収を徹底する。
産業廃棄物の削減に努力する。前年より増加しないようにする。マニフェスト管理は継続。	産業廃棄物の削減に努力する。前年より増加しないようにする。マニフェスト管理は継続。	産業廃棄物の削減に努力する。前年より増加しないようにする。マニフェスト管理は継続。
環境に配慮した商品の販売を増やす。74 期比数量 3%増加。	環境に配慮した商品の販売を増やす。75 期比数量 3%増加。	環境に配慮した商品の販売を増やす。76 期比数量 3%増加。

※CO₂ 排出係数… 電力: 0.311kg-CO₂/kWh (関西電力;2021 年度)、ガソリン: 2.32kg-CO₂/L

■ 今期の環境経営目標とその実績

第 75 期の環境目標とその実績（対象期間：2023 年 10 月～2024 年 9 月）

第 75 期環境目標	75 期(2023 年 10 月～2024 年 9 月)の実績			結果
	前年(74 期)	目標	当年(75 期)	
電力使用による温室効果ガス排出量を第 74 期比 1%削減する(kg-CO2)	18,010	17,830	17,503	○ 74 期比 2.8%減
車両ガソリンの削減に努める為、エコカーの使用、エコ運転に努める。前年より増加しないように努める (kg-CO2)	1,569	1,569	1,231	○ 74 期比 21.5%減
コピー用紙使用量を第 74 期比 2%削減する(千枚)	138	135	184	× 74 期比 33.3%増
給湯室、洗面所での節水活動の推進※	啓発用掲示物	啓発用掲示物	啓発用掲示物	○
事務所から出る一般廃棄物を削減する為、分別回収を徹底する。新聞紙等を資源化分別する。	分別ごみ箱の設置	分別ごみ箱の設置	分別ごみ箱の設置-	○
産業廃棄物の削減に努力する。74 期より増加しないようにする。マニフェスト管理は継続(kg)。	4,265	4,265	2,871	○ 74 期比 32.7%減
環境に配慮した商品の販売を74 期比 3%増やす(t)	2,218	2,285	2,534	○ 74 期比 14.2%増

※当社は賃貸ビルの一室にあり、ビル清掃業者が清掃回収しており、排水量や事務所から排出される一般廃棄物発生量の把握が困難であるため、定量的に把握していない。従って排水量、一般廃棄物排出量に係る目標は、定性的な活動評価のみ実施している。

事務所から発生する一般廃棄物削減については、ゴミ箱に分別基準を表示し、ペットボトル、ビン、カンなどを資源ごみとして回収できるように分別し、紙類については新聞紙、廃コピー紙は資源化ごみとして分別取り組みを行っている。

節水活動については、啓発用の掲示物を張出して削減取組を行っている。

※CO₂ 排出係数… 電力: 0.311kg-CO₂/kWh (関西電力;2021 年度)、ガソリン: 2.32kg-CO₂/L

■ 主要な環境経営計画と取組結果の評価及び次年度取組

1) 地球温暖化対策

電力使用による温室効果ガス排出量につき、74 期比 1%削減の目標を達成する為に、「温度設定の為の掲示物の作成、掲示」、「設定温度ルールの順守」、「外出時の P C 電源の O F F」、「未使用場所の消灯」、「月 2 回のノー残業日」をより徹底して実施した。これらの取り組みを行ったが 74 期と比べ 2.8%減となり目標以上の達成となる。働き改革もあり残業時間が大幅に減少した為と思われる。次年度も目標達成に向けて、引き続き取り組みを周知徹底し、目標を達成できるよう努力する。

2) 車両用ガソリンの削減

74 期比 21.5%減となり目標達成できた。営業で外出する機会も増えたが、レンタカー使用時は EV/ハイブリッドの選択、車以外の移動手段での電車使用等にて大きく目標を超える事が出来た。次年度についても、エコカー・電車移動・徹底し、並行して WEB 面談の推進を検討する

3) 省資源の取り組み（コピー用紙の削減）

74 期比 2.0%の使用量削減を目標とし、受発注において FAX 印刷を廃止、PC 上での送受信を引き続き継続しており用紙削減を推し進めているが、請求書の電子化に伴い弊社支払い分の請求書を保管するためプリントアウトする機会が大幅に増えたこと、社内会議の増加・WEB 会議回数の減少等で提出資料も増えた事が、74 期比 33.3%の増となってしまう目標と比較して大幅に増加してしまった。再度、各自にエコ意識の周知徹底を行い、より一層の用紙削減の継続・努力に注力するよう連絡する。

4) 一般廃棄物の分別

事務所から発生するごみにつき、ゴミ箱にペットボトルやビン・カンなど、分別基準の表示を行い、資源化ごみとして排出している。次年度も引き続き取り組みを継続・努力する。

5) 産業廃棄物の削減

産業廃棄物の削減に努め 74 期より増加しないことを目標とし、今期は 32.7%の減少となる。医薬品原料運搬時の保冷剤及び梱包材(発泡スチロール)は出来る限りオーダーをまとめ、各材の削減に努めた。また粉体樹脂製品も同じく販売量が増える方向にあるが製造メーカーへの働きかけで破袋・開封品が大幅に減少した事が大きな理由となる。引き続き販売量が増加する方向にあり廃棄物処理は避けて通れない状況ではあるが、包材変更の検討含め各メーカーへエコアクション活動の理解を求めるようにする。マニフェストの管理は継続して行っており、次年度についても引き続き削減取り組みを継続・努力する。

6) 環境配慮商品の販売

環境に配慮された商品である、水系樹脂、水系防腐剤、粒状活性炭、植物油、粉体塗料原料を販促して、74 期比 14.1%の販売数量増となる。次年度もユーザーのニーズを探索し、環境にやさしい商品の拡販活動を継続する。

■ 関連法規制の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

法規制	取り組み内容	順守
廃棄物処理法	事務所内及び契約倉庫で発生する汚泥・廃プラスチック・動植物性残さの廃棄につき、マニフェスト管理を行っている。	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品(冷凍庫)の点検を実施している	○
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに環境生活の清潔保持に関する条例	ごみの分別回収を行っている。	○
毒物及び劇物取締法	取り扱い製品の毒物・劇物の分類を社内システムに登録し、譲受書、譲渡書の収集を適切に行っている。	○
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	医薬品の包装・表示・保管および卸売販売において、薬機法に基づき管理を行っている。 今期は医薬品製造業につき、大阪府による適合性調査の結果を受け、適合と判断された。	○

■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

定期的に環境関連法規への順守状況をチェックしており、過去 3 年、環境関連法規への違反はなく、訴訟等も発生していない。

■ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

<全体の評価及び指示>

当期の環境経営目標 7 つの項目のうち、6 つの項目につき目標達成。未達となった 1 項目「コピー用紙使用量削減」は会議及びユーザーへの資料の提出機会が増加した為と分析している。また、特に大きく目標達成を超える事となった「産業廃棄物削減」はオーダー単位の集約で包材の削減、メーカーへの働きかけで設備改良を実施し不良品数を減らすことができた事が理由と思われる。引き続き来期も環境経営方針を実践し環境にやさしい商売を実践する。

★ <環境経営方針、環境経営目標・計画および実施体制の変更>

従来は各拠点ごとに独自目標を立て活動を行っていたが、来期より 3 拠点の統一目標を掲げ全社一丸となりエコアクションを推進する事とした。

■ 次回レポート発行時期

2025 年 11 月